

Fuji Champion Race Series Round 1

2021.4.10 SAT

2021年の富士チャンピオンレースシリーズは、新型コロナ感染症対策を実施する中で、予定通りに4月10日開催された。

天候に恵まれ、コースレコードが更新されるクラスも数多く、絶好のレース日和となった。

開催クラスは、第2戦がNAPAC 富士SUPER TEC 24時間レースで編入開催されるロードスターカップ1.5/1.6/1.8/2.0。昨年までGAZOO Racing Netz Cup Vitzとして開催されていたレース車両を使用したFCR-Vitzや86&BRZ/富士86BRZチャレンジカップ、MR2/AE86/NA1600/シルビア・アルテッツァ/AE111など全5戦が開催された。



日本初の「ナンバー付き車両によるレース」として2000年に始まり、昨シーズンまで21年間続いたNetz Cup Vitz Cupも今シーズンからYaris Cupにチェンジ。それでもまだまだレースも街乗りも出来るマシンがあるので、今年から装いも新たに始まったのがFCR-Vitz。

朝の予選での上位ポジションは、やはりVitz Cup常連勢。その中で#18 ADVICS桜織Vitz みなびよが2'16.276のトップタイムを出し、ポールポジションを獲得。

午後の決勝レースでは、スタートから激しいトップ争いとなり、TGRコーナーには4台がほぼ並んだ状態で入ってゆく。オープニングラップを制したのは#18 ADVICS桜織TRT豊田自動織機Vitz 堀内秀也だったが、3周目には#210 仁藤がトップに。また、4周目には予選4番手からスタートだった#44 N愛知K-oneプロμVitz 国枝惣一郎がト

ップに立つ。その後も#210仁藤と#44国枝の2台で毎周回トップが代わるほどの激しい争いが続き、8週の決勝を0.2秒差で優勝したのは#44国枝だった。2位には#210仁藤、3位も最後まで接戦が続き、予選6番手から徐々にポジションアップしてきた#713 白井家お父さんVitz 白井博がこちらにも背後にコンマ差で3位表彰台となった。激しいバトルを制した#44 国枝はレース終了後「鈴鹿をメインに走っていますが一昨年からこちらにも力を入れてきています。スタート直後の混戦は外側に逃げたので上手く前に出られました。ヤリスにも参戦予定ですが、Vitzもまだまだ走れるし、今シーズンはこの優勝で幸先の良いスタートが切れたのでチャンピオン目指して頑張ります」と語った。



RESULT リザルト FCR-Vitz

Rank No.	Name
1	44 国枝 惣一郎
2	210 仁藤 佑介
3	713 白井 博
4	68 三浦 誠
5	307 井上 功
6	40 堀内 秀也

SILVIA・ALTEZZA/NA1600/MR2

AE86/AE111

Round 1



今年の富士チャン最初のレースは5クラスの混走のこのカテゴリー。予選トップタイムはシルビアの#15 S15シルビア 山崎 浩明の1'57.674。NA1600では総合2番手タイムの#64 サン・パウアーハウスIDI86 矢島 篤 1'58.414。3番手タイムにはMR2 #78 ダイエーモータースDXLMR2 谷田伸之 2'02.348。4番手にはAE86 #240ガレーシアネックス・μ・レビン 山口 崇 2'02.499。5番手タイムはAE111 #18 ACRE塩岡スピードレビン 塩岡雅敏といった各クラスのトップが上位5台に連なってタイムを出した。スターティンググリッドはいつものようにマシン特性を考慮した規則によりNA1600クラス#64矢島がポールからのスタートとなっている。

決勝ではオープニングラップで#15山崎がトップに立つが、#64矢島も7周目にはトップに。その後も激しいトップ争いが続き、9周目には再び#15山崎がトップへ。そのまま11週の決勝は#15山崎がトッ

プでチェッカーを受けた。

各クラスのコメント。シルビア・アルテッツァ #15山崎「バトルが出来て楽しかった！前半頑張りすぎてタイヤが垂れてきたので、少し引いて最後には絶対に前に出る！と思って走っていました」NA1600 #64 矢島「やはりシルビアは速いですね！でも楽しくレースができました」MR2 #78 谷田「今日が腰痛が辛かった！他のクラスの邪魔にならないように走り切りました」AE86 #240山口「去年はマシンの調子が悪くて、ブレーキ周りを調整したら今回は楽しく走れました。他のクラスの邪魔をしないようにバトルも出来たし楽しかったです」AE111 #98 MAS AZUR・IDIトレノ 窪田範明「作戦勝ちが出来ました。途中からさらにいろいろ考えて、最後はクレバーな走りを見せるぞ！」と思っていたとおりに出来て良かったです」



RESULT リザルト AE111

Rank No.	Name
1	98 窪田 範明
2	18 塩岡 雅敏
3	32 松川 智泰
4	44 大久保 兼一



RESULT リザルト AE86

Rank No.	Name
1	240 山口 崇
2	40 柳本 文彦
3	41 中村 徹
4	35 望月 守



RESULT リザルト MR2

Rank No.	Name
1	78 谷田 伸行
2	20 木邨 一吉



RESULT リザルト NA1600

Rank No.	Name
1	64 矢島 篤
2	37 秋元 優範



RESULT リザルト SILVIA・アルテッツァ

Rank No.	Name
1	15 山崎 浩明
2	45 渡邊 博人

86&BRZ FUJI 86BRZ Challenge Cup Round 1



5つのクラスで競われるこのカテゴリー、朝の予選でトップタイムを出したのは、富士86BRZチャレンジカップJP-2Rの#99 プロコンボジットBLITZ86 小野田貴俊 1'58.879でコースレコードを更新。2番手タイムは同じクラスの#55 AUTOFACTRY86 たしろじゅんで1'59.096。3番手は86&BRZクラストップの#77 IDI服部クリニック 86 山内正義1'59.372でこちらもコースレコードを更新した。5番手の#750 ケイズレーシングBRZ 鍛冶田昇もJP-2Sクラスのレコード更新の1'59.650。JP-4Sでも#210 SYS楡クリBRZ 五賀貴男が2'06.442でレコード更新という各クラス昨年よりもタイムアップしてきている。

決勝ではオープニングラップで#55たしろがトップに立つが、#55小野田と毎周回激しいバトルが繰り広げられるが、そこに4番手スタ

ートの同じくJP-2Rの#8パワークラフトBLITZ86 古田聡も加わり3台のトップ争いが最後まで続いた。10週の決勝を0.2秒差で制し、先にチェッカーを受けたのは#55たしろだった。86&BRZクラスでは総合4番手の#77山内が優勝した。

レース後のコメント 86BRZチャレンジカップJP-2R #55たしろ「S耐久も一緒に走っている相手なので信頼して良いバトルができて楽しかったです。最後は“いくぞ!”と頑張ったら、たまたま前に出られました」86&BRZ #77山内「無事に帰ってこられました。ATのマシンなのですが、上手く仕上げてもらって速く走ることが出来ました、次戦は別の方に乗ってもらいます」と語った。



RESULT リザルト 86&BRZ

Rank No.	Name
1	77 山内 正義
2	57 土山 哲史
3	50 野田 宗男
4	53 森田 幸二郎
5	222 松下 浩平



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 2R

Rank No.	Name
1	55 たしろ じゅん
2	99 小野田 貴敏
3	8 古田 聡



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 2S

Rank No.	Name
1	750 鍛冶田 昇
2	33 関 篤人
3	16 石川 賢志



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 3S

Rank No.	Name
1	1 木幡 修一郎
2	72 堀 舜之



RESULT リザルト Fuji 86BRZ Challenge Cup 4S

Rank No.	Name
1	210 五賀 貴男
2	49 清 充秀
3	802 田中 鉄三郎

ROADSTER CUP

1.5/1.6/1.8/2.0

Round 1



5クラス総合27台のエントリーで戦われるRSC開幕戦。午前中の予選でトップタイムを出したのは1.5OP #23 ASM AIZOME ND5 山本謙吾の2'08.811。1.8クラスでは総合3番手でコースレコードを更新した#18 CKイノベーションNB8 小林哲男 2'09.382。2.0OPは総合4番手の#1 Joy☆アクレMoty'sRS 高橋裕史2'09.472。1.6では総合9番手でこちらもコースレコードを更新した#53 ガレージSIVARロードスター 水野寿通 2'09.944。1.5CHでは総合22番手の#118 MBRロードスター ACRE 中嶋鷹 2'14.077がトップからのスタートとなった。

決勝レースでは、スタート直後からトップ3台の激しい争いが繰り広げられ、その背後では10台ほどが連なっている4位争いが続いたが、レース後半になるとトップ3台は等間隔で周回を重ねる。4位争いは

最後まで続いたが、総合では#23 山本がポールトゥウィンを決めた。

各クラス優勝ドライバーのコメント 総合・1.5OP#23 山本「難しいレースでした。自分はニュータイヤ、#7茂木さんはユーズドで行ったのですが、ニューだと途中でどうしても垂れてくる、一旦タイヤを温存して最後にプッシュする作戦をとりました。最終ラップでファステストがでて嬉しいです」1.8#18小林「参戦2年目にして初優勝できました。とても嬉しいです」1.6#53水野「他のクラスのマシンに引けず走り切りました」2.0#77NDSエンジニアリング 長岡哲也「参加が1台になっちゃったところでしたが、高橋さんがエントリーしてくれてこのクラス成立できました。友達に大感謝です。皆もっと2.0にも出てきてほしいです」1.5CH #118中嶋「今シーズンで5年目です。やっと勝ててとても嬉しい！」と語った。



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト RSC1.5 O

Rank No.	Name
1	23 山本 謙悟
2	7 茂木 文明
3	14 小倉 徹
4	78 赤石沢 清人
5	802 田中 鉄三郎



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト RSC1.5 C

Rank No.	Name
1	118 中嶋 鷹
2	38 中村 進
3	32 原嶋 昭弘
4	4 下山 百合江
5	41 大嶋 愛
6	17 ヤンコバ



Winner



2nd



3rd



RESULT リザルト RSC1.8

Rank No.	Name
1	18 小林 哲男
2	91 神谷 誠
3	2 渡邊 達也
4	55 澤田 薫
5	84 大矢 明夫
6	88 山田 健介



Winner



2nd



RESULT リザルト RSC1.6

Rank No.	Name
1	53 水野 寿通
2	27 野木 強



Winner



2nd



RESULT リザルト RSC2.0 O

Rank No.	Name
1	77 長岡 哲也
2	1 高橋 裕史